

研究概要: 土佐尚子研究室

研究テーマ: Art, Culture and Technology, Art Innovation

土佐研究室では、芸術とテクノロジーをつなぐ「カルチュラル・コンピューティング」「アートイノベーション」を研究しています。世界はインターネットでつながりました。しかし地域や民族に根ざしていた文化が「フラット化」されてきています。私達は文化を脱ぎ捨てることはできない。いままでコンピュータで定量化できなかった感情・意識・物語・民族性といった人々に内属するものを扱い、精神に触れるアートイノベーションが不可欠です。人間が歴史の中で行為や文法などの形で蓄えてきたものをモデル化した、コンテンツやシステム・サービスです。それを心で理解することにより、グローバルコミュニケーションは深まるでしょう。

特に日本文化のコンピューティングに注目し、これまでコンピューティングの対象となってきた来なかった

(1)日本の移ろいやすい気象・自然風土「もののあわれ」などの無常思想や「わび、さび」などの美意識、(2)日本文化とアジア文化の関係、(3)神仏習合を根拠とした文化構造、(4)和歌、俳諧や能などの日本語独特の特性、(5)日本的意匠(紋、織、色、型)を研究しています。みなさんと、わくわくする未来を創造していきたいと考えています。

<協力機関>

大学: ロンドン大学ゴールドスミス校、コロンビア大学ドナルド・キーンセンター、東京芸術大学COI拠点、四国大学

企業: 凸版印刷株式会社、三菱電機先端技術研究所、(株)島津製作所、豊田産業株式会社、(株)ウシオ電機、(株)テルミック等

行政: 文化庁、京都府、京都市、京都市産業技術研究所等



研究室紹介web



京都大学大学院総合生存学館特定教授
(凸版印刷アートイノベーション産学協同講座)

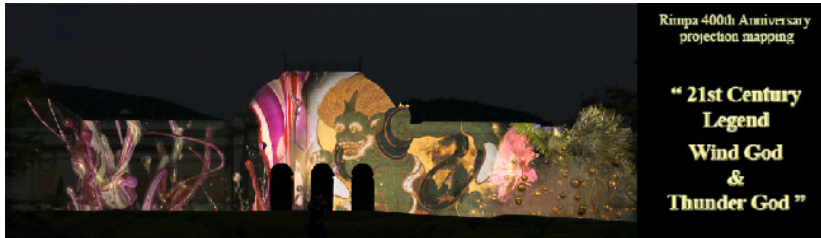
tosa.naoko.5c@kyoto-u.ac.jp



研究参考web



作品紹介web



京都府琳派400年記念事業
京都国立博物館でのプロジェクションマッピング, 2015

Projection mapping celebrating Rimpa
400th anniversary in 2015



2016年文化庁文化交流使の任命を受け、8カ国10都市を訪問し、NYでは、2017年4月1ヶ月間毎夜3分間「サウンドオブ生け花(春)」の作品を、NYの60台以上のビルボードに放映し、NYの人々に日本の櫻を披露する文化交流を行なった。



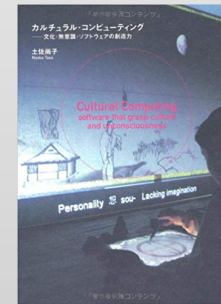
シンガポールのアートサイエンスミュージアムでの「サウンドオブいけばな」のプロジェクションマッピング, 2014 (グッドデザイン賞受賞)



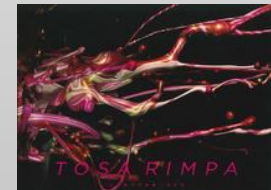
著書紹介



Cross-Cultural Computing: An Artist's Journey
著者: Naoko Tosa
出版社: Springer UK



カルチュラル・コンピューティング
著者: 土佐尚子
出版社: NTT出版



TOSA RIMPA
土佐尚子作品集
出版社: 淡交社